

関西教育行政学会
会 報
第 12 号

The Kansai Society for Educational Administration

〒 606-8501
京都市左京区吉田本町
京都大学大学院教育学研究科内
関西教育行政学会事務局
TEL & FAX: (075)753-3080
Mail: kansaisea@gmail.com
ホームページ <http://ksea.jp/>

■□■ 2021 年度第 37 回大会のご案内 ■□■

【日時】 令和 3 年 12 月 5 日（日）午後 2 時から午後 5 時

【場所】 オンライン開催
(詳細につきましては下記の案内をご参照ください。)

【大会参加要領】

1. 受付
以下の URL よりご参加ください。

打ち合わせを行っておりますので、13 時 45 分以降にご入室ください。

※大会参加費は無料です。

2. 大会プログラム
大会プログラムは、12 月 3 日(金)以降に以下の URL にて公開いたします。アクセスの上、ダウンロードしてください。

【大会日程】

開始時刻	内 容	会 場
11 時 00 分～11 時 30 分 〈紀要編集委員会〉		別途ご案内します。
11 時 30 分～13 時 30 分 〈理事会〉		別途ご案内します。
12 時 30 分～13 時 30 分 〈シンポジウム打ち合わせ〉		別途ご案内します。

14 時 00 分～ 【大会シンポジウム】

「人口減少時代における高等学校制度の在り方と教育行政の果たす役割」

パネリスト： 浅野 良一 会員 (兵庫教育大学)
江上 直樹 会員 (大阪大谷大学)
佐々井宏平 氏 (京都先端科学大学附属中学校
高等学校)

司会： 南部 初世 会員 (名古屋大学)

【大会シンポジウム趣旨】

人口減少時代における高等学校制度の在り方と教育行政の果たす役割

2019年7月、中央教育審議会新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループにおいて、四半世紀ぶりに本格的に高等学校全体像を見直すことを意図した高校改革論議が開始され、2020年11月に、審議まとめ「多様な生徒が社会とつながり、学ぶ意欲が育まれる魅力ある高等学校教育の実現に向けて」が提出された。ここでは、高等学校教育を取り巻く現状と課題認識、新型コロナウイルス感染症の拡大を通じて再認識された高等学校の役割・在り方を踏まえ、高校生学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化に向けた方策が提示されている。主たる論点となったのは、地域の実態に応じた多様な高等学校教育の実現、各高等学校の存在意義・社会的役割等の明確化(スクール・ミッションの再定義)、各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針(スクール・ポリシー)の策定、地域社会や高等教育機関等の関係機関と連携・協働した学びの実現であった。

これらは2021年1月の中央教育審議会答申に盛り込まれ、3月には学校教育法施行規則が改正された。現在各都道府県において、2022年度施行を意図して、それぞれの教育振興基本計画や高等学校に関する各種計画と合わせ、検討しているところである。

今回の高校改革論議のベースには、「地方創生」の問題が存在しているが、これは、中山間地域や離島といった過疎地域にとどまる問題ではない。3大都市圏や地方の中心都市においても既に高校再編計画が進められてきている。今後の我が国の高等学校制度の在り方を考えるには、少子化の進行によって高等学校としての教育機能の維持が困難となっている地域と、私立学校も含め通学可能な高等学校の選択肢が多数存在する地域双方を射程に入れて検討することが必要である。そこで本シンポジウムでは、両地域を含む京都府を事例として取り上げ、これからの高等学校制度の在り方とそこにおける教育行政の果たす役割について考えてみたい。

スピーカーには、「府立高校の在り方ビジョン(仮称)検討会議」座長として、魅力ある学校づくりのための制度改革に関わっておられる浅野良一会員、人口減少地域における教育改革や地域経営について、生徒・保護者・教育関係者の意識も含め研究しておられる江上直樹会員、私学経営者としてみずから特色ある学校経営を行いつつ、京都府私立中学高等学校連合会会長として、府下のこれからの私学の在り方を模索されている佐々井宏平氏をお迎えし、「地方部一都市部」「公立一私立」の軸において、高校の特色化・魅力化と配置の問題、そこにおける教育行政の役割について議論できればと考えている。

司会：南部 初世 (名古屋大学)

【パネリスト報告題目】

1. 京都府における府立高等学校の現状と改革の方向
浅野 良一会員 (兵庫教育大学)
2. 人口減少地域における高等学校の位置と役割
江上 直樹会員 (大阪大谷大学)
3. 私学教育が果たす公教育の使命
佐々井宏平氏 (京都先端科学大学附属中学校高等学校)

□■□ 事務局より □■□

【紀要第 49 号への投稿申込について】

『教育行財政研究』第 49 号（2022 年 3 月発行予定）の「自由研究論文」及び「研究ノート」への投稿申し込みを受け付けています。「自由研究論文」への投稿資格は、2020 年 1 月例会から 2021 年 11 月例会において発表した会員です。なお、「研究ノート」は、その性質上、例会・大会でいまだ発表していない場合でも投稿可能です。

投稿資格を有し、かつ投稿を希望する会員は、所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、件名「投稿申込」として 11 月 30 日（火）17 時までに紀要編集委員会 (kseakiyou@gmail.com) までメール添付でお送りください。所定の申し込み用紙は、学会 HP (<http://ksea.jp>) からダウンロード可能です。なお、原稿の投稿締め切りは 2022 年 1 月 10 日（月）17 時です。ご不明な点などございましたら紀要編集委員会までお問い合わせください。

【11 月例会の動画公開について】

11 月例会の様子を収録した動画を YouTube に公開いたしました。下記の URL より視聴いただけます。

なお、動画の公開は 12 月末までとさせていただきます。2022 年 1 月以降に動画の視聴を希望される場合は、事務局までお申し出ください。視聴方法をご連絡いたします。

【例会報告のお願い】

例会報告をご希望の方は、例会担当の宮村理事、開沼理事もしくは事務局までご連絡をお願いします。

【寄贈図書】

下記の図書が寄贈されました。閲覧を希望される方は事務局までご連絡ください。

- 京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センター監修・南部広孝編著『検証 日本の教育改革—激動の 2010 年代を振り返る—』学事出版、2021 年。（寄贈：服部会員）

【会費納入のお願い】

2021 年度学会費を未納の方は、早急に納入をお願いいたします。一般会員は 7,000 円、学生会員は 3,500 円です。名誉会員については会費の納入は不要です。2022 年度に名誉会員に該当される方には近日中にご連絡いたします。

なお、既報のとおり、2022 年度より払込用紙での会費納入の際の手数料が学会負担となります。手数料が学会負担となる払込用紙（赤色）を 12 月中にお送りしますので、そちらを使用してお支払いください。

これまでお送りしていた青色の払込用紙では手数料が学会負担となりませんのでご注意ください。

会費の納入状況につきましては、遠慮なく事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座番号： 01000-8-34227 加入者名： 関西教育行政学会

他の金融機関から当学会郵便振替口座へお振込みをしていただく際は、以下の振込用の店名・預金種目・口座番号・受取人名をご指定ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	109
店名 (カナ)	一〇九店 (イチゼロキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0034227
カナ氏名 (受取人名)	カンサイキョウイクギョウセイガツカイ (全て大文字)

【事務局からのお願い】

所属、住所、メールアドレス等が変更になりましたら、お手数ですが事務局までご一報ください。

【事務局の連絡先】

住所：〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院教育学研究科内

電話：075-753-3080

Mail：kansaisea@gmail.com